



2019年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社フォーバル
代表者名 代表取締役社長 中島 將典
(コード番号：8275 東証第一部)
問合せ先 常務取締役 加藤 康二
電話 03-3498-1541

**子会社フォーバル・リアルストレートの繰延税金資産の計上並びに通期業績
予想と実績値との差異及び通期業績と前期実績値との差異に関するお知らせ**

本日、当社の連結子会社である株式会社フォーバル・リアルストレート（コード：9423 JASDAQ）は、2018年5月11日に公表しました2019年3月期連結業績予想について、また前期実績値と当期実績値の差異について別添資料のとおり公表いたしましたのでお知らせいたします。

なお、本件による当社の業績への影響は軽微であり、当社の業績予想の修正はございません。当社の連結業績につきましては、本日開示する予定であります。

（添付）株式会社フォーバル・リアルストレート開示資料

「繰延税金資産の計上並びに通期業績予想と実績値との差異及び通期業績と前期実績値との差異に関するお知らせ」

以 上

各 位

会 社 名 株 式 会 社 F R S
 (登記社名 株式会社フォーバル・リアルストレート)
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 吉 田 浩 司
 (J A S D A Q ・ コ ー ド 9 4 2 3)
 問 合 せ 先 取 締 役 管 理 部 長 早 川 慎 一 郎
 (T E L 0 3 - 6 8 2 6 - 1 5 0 2)

繰延税金資産の計上並びに通期業績予想と実績値との差異及び 通期業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2019年3月期決算において、下記のとおり繰延税金資産を追加計上することとなりましたのでお知らせいたします。併せて2019年3月期（2018年4月1日～2019年3月31日）の通期業績につきまして、通期業績予想及び前期実績値との間に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の計上について

当社及び連結子会社は、2019年3月期及び今後の業績動向等を勘案し、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、2019年3月期において繰延税金資産を追加計上することとなり、法人税等調整額を△31百万円計上いたしました。

2. 業績予想と実績値との差異について（2018年4月1日～2019年3月31日）

・連結

（百万円）

	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	65	65	65	2円78銭
当期実績（B）	68	68	100	4円29銭
増減額（B-A）	3	3	35	—
増減率（%）	4.8	4.8	54.5	—
（ご参考）前期実績 （2018年3月期）	56	56	68	2円93銭

3. 当期実績値（2018年4月1日～2019年3月31日）と前期実績値（2017年4月1日～2018年3月31日）との差異について

・連結

（百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値（A） （2018年3月期）	1,281	56	56	68	2円93銭
当期実績値（B） （2019年3月期）	1,517	68	68	100	4円29銭
増減額（B-A）	236	12	12	32	—
増減率（%）	18.4	21.3	20.7	46.3	—

4. 差異の理由

当連結会計年度において、当社グループは顧客企業の移転時における、不動産物件の仲介から内装工事、各種インフラの整備やオフィス機器・什器の手配までをトータルにサポートするソリューション事業を中心に事業活動を行ってまいりました。不動産仲介につきましては、顧客単価が前年度比で約4%、成約件数が約17%の増加となり、売上高、利益とも前期実績値を上回りました。子会社の㈱FRS ファシリティーズを中心とした内装工事やOA機器・什器の販売につきましては、顧客単価が前年度比で約27%、成約件数が前年度比で約3%の増加となり、売上高、利益とも前期実績値を上回りました。

その結果、連結業績における売上高は前期実績値を上回る結果となりました。また、個別において繰延税金資産を追加計上し、連結子会社において繰延税金資産を新たに計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は予想数値及び前期実績を上回ることとなりました。

（注）2019年3月期の業績の詳細につきましては、本日公表の「2019年3月期 決算短信」をご参照ください。

以上